

# 「道迷い」シンポジウム開催のご案内

主催 日本山岳 SAR（サーチ&レスキュー）研究機構

共催 （公社）日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟

協賛 NPO 法人 Mnop、（公社）日本オリエンテーリング協会

我が国における山岳遭難事故は増加し続け、2013 年の事故統計では 2713 名の遭難事故者を記録しました。その増加原因には「道迷い遭難」が 42%（1134 名）も占めることによる影響が大きく、他国には見られない特異な社会問題となっております。

従来、「道迷い」の研究の特徴は、登山医学、オリエンテーリング、野外教育などの領域で単発的に研究されてきましたが、十分な議論がないまま推移し、さらに、山岳雑誌に登山関係者やレスキュー関係者の経験に基づく指導的文章が掲載されているのが現状です。

そこで、主として登山ならびに野外活動における道迷い問題の関係者が広く参集し、議論を深めることで、道迷いの現状、発生の原因等を検討し、今後の対策につなげていくことを目的として、「道迷い」に関するシンポジウムを開催することにいたしました。この機会に、関係者の皆様の参加を期待しております。

## 記

開催日時 **2015 年 3 月 14 日（土）13:00～17:00**

開催場所 関西大学総合情報学部（付図参照）

参加費 **500 円（冊子作成費）**

## プログラム

- 第 1 部 道迷い事故の現状と問題点
- 第 2 部 道迷い経験者による報告
- 第 3 部 関連要因から見た道迷い発生のメカニズム  
(空間認知能力、読図、登山環境、定位・同定能力試験など)
- 第 4 部 対策（救助法、減遭難活動とナビゲーション指導等）

## ※ 発表の申し込み

発表者の所属、共同研究者、連絡方法（住所、tel、メールアドレス）

発表演題と簡単な概要を以下の所まで、メールで申し込み連絡下さい

複数テーマの発表可、発表数に応じて変更やポスター発表をお願いすることもあります

申し込み締め切り **2 月 28 日（土）**

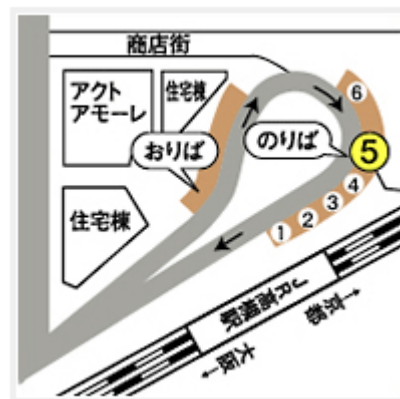
原稿締め切り **3 月 7 日（土）**

原稿は、MSword で作成してください。書式は A4 とし、上下左右に 25mm 以上の余白をとり、本文は、概ね 35-40 行、1 行 40 字程度、本文のフォントは 10.5pt 程度としてください。枚数 10 p まで

簡単な冊子を作成し、配布します。発表時間割は後日連絡します。

申込先ならびに原稿送付先 **日本山岳 SAR 研究機構・道迷い WG**

(村越真 [navi@m-nop.com](mailto:navi@m-nop.com) (石原担当) 青山千彰 [aoyamachiaki@gmail.com](mailto:aoyamachiaki@gmail.com))



交通

京都駅/大坂駅 から JR 京都線で高槻駅（新快速停車）下車

高槻市営バスをご利用いただき、バス停「関西大学」で下車してください。なお、JR 高槻駅（西側バス停）から「関西大学」行に乗車。『関西大学』総合情報学部にお越しの場合は『関西大学』で下車してください。

（手前の『西の口（関大正門前）』では下車しないように注意してください）

大学まで 15-20 分、約 20 分間隔で出発 時刻表は以下のサイトで

[http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_inf/ca/ca\\_bus\\_takatsuki.html](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_inf/ca/ca_bus_takatsuki.html)

以上